

# 学術の軍事化と核拡散の危機 —歴史を記憶し、戦争を避け、平和な未来を—

講演要旨：2024年被団協のノーベル平和賞受賞や、総選挙・参議院議員選挙での自民党連立過半数割れの中で、2025年前半には、戦後80年を踏まえ、民意は強く平和への変革を求めたかに見えた。しかし、8月末から9月にかけ、高市総裁・首相が選出され、維新・国民民主・参政党などがそれを支持していく中、日本社会の振り子は、改めて逆に大きく揺れることとなった。特に高市首相の「存立危機事態」発言によって、中国との関係が急激に悪化し、防衛費大幅増額、「非核三原則の見直し」、「核兵器保有もありうる」という状況の中、若者の高支持率の中で改憲すら日程に上っている。日清戦争130年、戦後80年を経て、戦争準備とミサイル配備が琉球列島や九州、東北・北海道まで進む中、私たちは研究者として、また唯一の被爆国として、いま一度、「学問の軍事化」や「核拡散の危機」に警鐘を鳴らし、若者・市民と共に、平和と多極共存の未来を作っていく。戦争を知らない世代が多数を占めた時、「戦争が起こる」という歴史を繰り返してはならない。戦争が始まり、犠牲になるのは軍指導者でも政治家でもなく、若者たちと市民であることを銘記すべきだ。



とき：2026年2月11日(水)

14時～16時

講演 14時～15時30分、質疑・意見交換 15時30分～16時

ところ：宮崎市中央公民館3階大研修室（宮崎駅東口近く）

は ば くみこ

講師：羽場 久美子 氏（青山学院大学名誉教授）

主催：日本科学者会議（JSA）宮崎支部、宮崎民主法律家協会

協賛：憲法と平和を守る宮崎県連絡会、みやざき九条の会、

安全保障関連法の廃止・立憲主義の回復を求める市民連合みやざき

◎どなたでも参加できます。なお、参加費として 500円 いただきます。

ただし、大学生・高校生等は無料です。

## 講師プロフィール

1952年兵庫県生れ。青山学院大学名誉教授、世界国際関係学会アジア太平洋前会長、日本学術会議元会員。専門は、国際政治学、国際関係論、国際社会学、EU（欧洲連合）地域研究、比較政治学、ナショナリズム、ゼノフォビア（外国人嫌悪）、先進国危機と戦争。著書に『世界の中の日本——社会に羽ばたく若者たちへ 平和をつくる』明石書店（2024）、『移民・難民・マイノリティー欧洲ポピュリズムの根源』彩流社（2021）など多数。

## ○ピースウォークのご案内：

「つどい」終了後すぐに、「みやざき九条の会」主催で、中央公民館を出たところから出発し、宮崎駅構内を抜けて、宮崎駅西口前（アミュプラザ前広場）まで歩き、そこで「平和を訴えるスタンディングとアピール」を行い、解散します。

問い合わせ先：宮崎中央法律事務所  
(Tel.: 0985-24-8820 )